

平成29年度1級認定牛削蹄師資格者昇級研修会および昇級試験実施要領

公益社団法人日本装削蹄協会

1. 目的

本研修会は、牛削蹄技術の向上とその普及を図るため、牛削蹄に関する実用的、応用的な知識と技術をさらに高め、畜産業界に貢献できる優秀な技術者を養成することを目的とする。

2. 開催期間および場所

- (1) 期間：平成30年1月30日（火）～2月1日（木）
- (2) 場所：JA全農いわて 中央家畜市場（岩手県岩手郡雫石町七ツ森20-1、
TEL 019-692-5711）

3. 受講資格：2級認定牛削蹄師で、次の(1)および(2)の条件を満たす者とします。

- (1) 2級認定牛削蹄師の認定を受けた日から平成29年6月1日をもって4年以上経過している者、または特に技術優秀と認められる者。

注 「特に技術優秀と認められる者」とは、全国牛削蹄競技大会において優勝した者。

- (2) 研修会修了後、引き続いて実施する昇級試験を受験できること。

4. 日程

- (1) 第1日目 午前8時30分より 開講式 学科研修
- (2) 第2日目 午前8時30分より 削蹄判断・実技研修
- (3) 第3日目
午前8時30分より 学科試験および実技試験

5. 研修内容

*研修会は、学科と実技を分けて個別に受講することはできません。

*研修会の期間は2日間とします。

(1) 学科研修（7時間）

- ア 牛および牛削蹄に関する一般教養
- イ 牛の肢蹄に関する専門科目
- ウ 牛削蹄技術に関する専門科目

(2) 実技研修（7時間）

- ア 基本削蹄（単独保定法および枠場保定法による）
- イ 異常蹄の削蹄処置

6. 試験内容

*昇級試験は、学科と実技を分けて個別に受験することはできません。

*昇級試験の期間は1日間とします。

(1) 学科試験

ア 削蹄理論（規定時間90分）

- ・牛の肢蹄に関する専門科目
- ・牛削蹄技術に関する専門科目

イ 削蹄判断（規定時間30分）

- ・実牛の削蹄判断試験（判断用牛1頭）

(2) 実技試験

*削蹄実技試験は、単独保定法または柁場保定法の選択制

ア 単独保定法による削蹄（規定時間60分）

イ 柁場保定法による削蹄（規定時間50分）

ウ 本会の定める蹄病処置申告用紙の提出

（削蹄終了前までに、試験牛の蹄病処置の必要があるものは、処置前に記載し提出することができる）

*アおよびイはいずれも規定時間により1頭の削蹄

7. 受講者の心得

(1) 筆記用具、本会教本「牛の削蹄」、作業着、クリップホルダー（B4大の画板）削蹄工具（削蹄用下敷き板および頭絡等を含む）は受講・受験者が持参して下さい。

(2) 柁場保定法により試験を希望する者は、各自で柁場を用意すること。本会では柁場の用意はいたしません。

(3) 受講・受験者は、防疫上の配慮に基づき清潔な作業衣服や消毒済みの削蹄工具を持参して下さい。（添付の「牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領」参照）

(4) 実技研修会・試験の牛は、搾乳牛を借用して実施します。

(5) 研修・試験中の事故については、本会は責任を負いません。

(6) 受講・受験に係る旅費は個人負担とします。

8. 受講・受験手続き

(1) 受講・受験申込み

受講申込書および受験願書は本会所定の様式とし、平成29年12月15日までに本会会長に提出して下さい。なお、再受験の方は、受験願書に1級認定牛削蹄師昇級研修会修了証を提出して下さい。（受講希望者は、受講申込書も同封のこと）

(2) 受講者の決定

ア 受講申込締切後、速やかに受講者を決定し、その旨を申込者に通知します。

イ 受講申込者が多数の場合は、本会会長が適宜受講者を決定します。

(3) 受講料・受験料等の納入

ア 後記9. に掲げる受講料・受験料等については、受講・受験者決定通知に同封する郵便局の振込取扱票を使用して、決定通知に記載されている期日までに本会に振込んで下さい。(振込手数料は受講者の負担とします。また、振込取扱票の記入方法については、同封の記載要領を参照して下さい。)

イ 受講料等の納入後に受講できなくなった場合は、受講料等は、原則として、返金はしない。

(4) 郵便局の「振替払込請求書兼受領書」は、当会の領収書に代えるものとします。

9. 受講料・受験料等（消費税を含む）

	*正会員に所属する認定牛削蹄師	*その他の認定牛削蹄師
(1) 受講料	25,710円	38,570円
(2) 受験料	25,710円	38,570円
(3) テキスト代	5,000円	6,000円

注1：テキストの送料については、1～5冊の場合は360円、6冊以上の場合は本会にご連絡ください。

注2：テキスト代については、既に購入済みの方は不要です。

10. 個人情報について

(1) 受講申込書等の記載内容については、研修・試験事務に利用します。また、受講者名簿を傷害保険会社に提出するのでご了承下さい。

(2) 試験合格後、認定申請書に記載された内容については認定事務の他、機関誌「蹄」への掲載、認定更新や昇級試験等の案内に利用するため、受験者の地元装削蹄師会に提供するのでご了承下さい。

11. 修了証および合格証の交付

(1) 昇級研修会において教科課程を修了した者には修了証を後日交付します。この修了証は、昇級試験に不合格となった者が再度昇級試験を受験する場合、昇級研修会免除の証となりますので大切に保管してください。

(2) 昇級試験に合格した者には合格証を後日交付します。なお、昇級試験に合格した者については、修了証を合格証に代えます。

牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領

平成 29 年 4 月 7 日
公益社団法人日本装削蹄協会

日本装削蹄協会（以下「本協会」という。）が主催する牛削蹄関係講習会・研修会における防疫対策については、「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」（平成 23 年 10 月 1 日農林水産大臣公表）を踏まえ、本要領に定めるところによる。

1. 目的

本要領は、家畜伝染病の発生予防の観点から、本協会が主催する講習会・研修会において、牛を使用して実技講習・研修、実技試験（以下「実技講習等」という。）を実施する場合の防疫対策を定めるものである。

2. 防疫対策の基本

実技講習等における防疫対策は、消毒の徹底を基本とする。

3. 講習会等における防疫対策

(1) 実技講習等に参加するに当たっての防疫上の心得

- ア. 実技講習等の受講・受験者並びに講師及び補助者（以下「受講者等」という。）は、洗濯した清潔な衣服を着用して実技講習等の会場（以下「実技講習会場」という。）に来場すること
- イ. 受講者等で実技講習等の前に偶蹄類の動物に接触した者は、事前に入浴及び洗髪してから実技講習会場に来場すること
- ウ. 受講者等は、事前に十分洗浄・消毒した削蹄用具（作業着、作業靴、作業手袋、前垂れ、各種削蹄器具、削蹄器具の収納箱等をいう。以下同じ。）を持参すること。
ただし、前垂れについては、洗浄しても汚物が除去できない場合は、新品を持参すること
- エ. 実技講習等で使用する牛の保定用ロープは、消毒済みのもの又は新品を持参すること
- オ. 受講者等及び本協会の実技講習等担当者（以下「日装担当者」という。）は、実技講習等終了後（帰宅後等）において、着衣の洗濯、入浴、洗髪を行うこと



1級認定牛削蹄師資格者昇級研修会受講申込書

公益社団法人日本装削蹄協会会長

殿

フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
住所	
電話	()
認定番号	
2級認定資格 取得後の実務 経験年数	年 月

1級認定牛削蹄師に昇級するための資格者昇級研修会
を受講したいので申し込みます。

年 月 日

氏名



注意 年月日は年号で記入すること。

1 級認定牛削蹄師資格者昇級試験受験願書

公益社団法人日本装削蹄協会会長 殿

公益社団法人日本装削蹄協会認定規程による 1 級

認定牛削蹄師資格者昇級試験の受験を願います。

平成 年 月 日

郵便番号

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

フリガナ

住 所

電 話

()

フリガナ

氏 名

印

年 月 日 生

1 級認定牛削蹄師資格者昇級試験（実技試験方式）受験申込書

平成29年11月14日
(公社) 日本装削蹄協会

日本装削蹄協会では、1 級認定牛削蹄師資格者昇級試験実施要領の一部改正により、実技試験においては、「単独保定法または杵場保定法のいずれかを受験者が選択できる」方式になっております。

本年度の1 級昇級試験の実施に当たりましては、会場確保等の準備の都合上、昇級試験の受験対象者について、実技試験における保定法等に関する希望を事前に把握しておく必要がありますので、下記により実技試験における保定法を各自選択の上、受講申請書、受験願書に添えてお申込みください。

なお、日本装削蹄協会では保定杵場の用意はいたしませんので、ご留意願います。

※ 受験申込者本人記入

氏 名	性 別	生年月日	2 級取得経過年数等	
	・男 ・女		年	(年度全国大会優勝者)
住 所	〒			

※ 受験方式等について、ご記入ください。

*実技試験で次のいずれの保定法を選択しますか。該当する記号を○で囲んでください。	
ア 単独保定法	イ 杵場保定法

1. 単独保定法を選択した方は、ご記入ください。

1. 大型削蹄器具等を使用しますか。該当する記号を○で囲んでください。 但し助手保定は不可。
ア 使用する (具体的な工具は、) イ 使用しない

2. 杵場保定を選択した方は、ご記入ください。

1. 使用杵場の種類。該当する記号を○で囲んでください。
ア 起立式簡易杵場 イ 起立式大型杵場 ウ 横転式大型杵場
2. 電動削蹄器を使用しますか。該当する記号を○で囲んでください。
ア 使用する イ 使用しない
3. 杵場及び電動削蹄器を使用する際の動力源は。該当する記号を○で囲んでください。
ア 施設電源借用 (二相式) イ 自家発電機使用 ウ 電源を使用しない